

アートカフェ・ムジカ


ガムラン ∞ 天女の舞


曼荼羅

「ガムラン∞天女の舞」曼荼羅

出演: パラグナhakata、浅野瑞穂+浅野瑞穂舞踊研究生

会場: 福岡アジア美術館 7F アートカフェ 主催: アートカフェ・コレクティブ

12/1  start 18:00
open 17:30 前売: 3,000円/当日: 3,500円 (ドリンク付き)

12/2  start 15:00
open 14:30 前売: 3,000円/当日: 3,500円 (ドリンク付き)

アフタートーク アートカフェ・トーク「ひびきの旅」第5期～身体にきく「瑞穂舞の誕生」

12月2日(土) start 18:00 (open 17:30) 参加費: 2,000円 (ドリンク付き)

ゲスト: 浅野瑞穂 ホスト: 藤枝守

チケット: イエナコーヒー警固店、ガリンペイロ・デ・アロマ、アジア美術館ショップ店頭、右記QRコード

曼荼羅前売

アフタートーク



SPACE-PLAN
スペース・プラン



こだわりの健康食品、新鮮な無農薬野菜
アイリスオーガニックテラス
福岡市中央区荒戸3-4-1-2階
TEL: 092-751-3005



脱力Labo
あきほ整骨院



PAX INTRAN TIBIVS SALVS EXEVN TIBIVS
”歩みいるものには安らぎを、去り行くものには幸せを”

「響きの曼茶羅」に見立てられた《ガムラン曼茶羅》。

八曲からなるこの組曲では、曼茶羅のようにガムランの楽器群が円環的に舞台に配置され、

「バラグナhakata」がその演奏にあたります。その「ガムラン曼茶羅」の響きに織り重なるように、

舞踏家の浅野瑞穂による「天女の舞曼茶羅」が螺旋を描くかのような舞の世界を展開していきます。

アジア美術館アートカフェに出現する「ガムラン」と「天女の舞」という二つの曼茶羅。

この一対となった二つのエネルギーの流れは、からみあい、渦を巻きながら、一体となって昇華していきます。

なお、「ガムラン曼茶羅」の旋律の生成には、香椎宮の御神木「綾杉」の電位変化のデータが使われています。

ガムラン∞天女の舞 曼茶羅

【演目】演奏：組曲「ガムラン曼茶羅I」全8曲

舞踏：天女の舞

【出演】ガムラン：バラグナhakata 舞踏：浅野瑞穂+浅野瑞穂舞踏研究生

【作曲】藤枝守

【振付】浅野瑞穂



「ガムラン+天女」曼茶羅
(2023年8月26日、サントリーホール・サマーフェスティバル)
出演：バラグナ・グループ+浅野瑞穂

バラグナhakata [ガムラン]

1985年インドネシア・スダ(西ジャワ)音楽のグループとして結成された「バラグナ・グループ」は、東京を拠点にガムラン・ドゥグン、トゥンバン・スダの演奏活動を行っている。その「バラグナ」のメンバーが母体となり、福岡のガムラン演奏家と共に、「バラグナhakata」が結成された。古典曲の他、ルー・ハリマン、藤枝守作曲の現代作品も精力的に演奏し、幅広い活動を展開している。2021年「リスニング・ミュージカム〜博物館が聴く」(九州大学博物館)、「ガムランの午後」(福岡アジア美術館アートカフェ)に出演。

藤枝守[作曲・芸術監督]

植物の電位変化データに基づいた《植物文様》を展開。著書に「増加する考古学」など。今年、5月に自由学園明日館にて「両界ガムラン曼茶羅」公演、8月に「サントリーホール・サマーフェスティバル」にて《ピアノとガムランのためのコンチャルトno.2》が初演、9月にメルボルンでの「Astra」コンサートで「Patterns of Plants」の公演。九州大学名誉教授、Ph.D. in Music (University of California, San Diego)

主催・制作：アートカフェ・コレクティブ
制作協力：マイルストーンアートワークス福岡
助成：公益財団法人 福岡文化財団
後援：福岡市、(公財)福岡市文化芸術財団
令和5年福岡市民芸術祭参加
第31回ふくおか県民文化祭2023参加
協力：福岡アジア美術館アートカフェ内「ロンホヤ」「イエナコーヒー」
一般社団法人九州の女、圓應寺
協賛：アイリスオーガニックテラス、あきは整骨院、
スペース・プラン、株式会社スパイラル

全てのお問合せ：092-982-1007 (イエナコーヒー 11時～21時)
artcafecollective@gmail.com

浅野瑞穂 [舞踏]

中国古典・民族舞踏を学び、北京公演等で活躍。その後、日本の古典・民俗芸能と出会い、その法則・音魂・形魂を学び、オリジナルの舞「瑞穂舞」を創始する。その天界を舞うような美しい舞スタイルから「天女の舞」と呼ばれる。伊勢神宮・出雲大社はじめ日本全国の神社仏閣に舞を奉納するとともに、海外公演等数々の舞台公演を行う。2003年「浅野瑞穂舞踏研究所スタジオ」開設。主な舞台作品に、「朗読活劇「レチク・カルダ」「義経」」、「ドラマチック古事記」、「舞踏家 浅野瑞穂〜地・水・火・風・空を舞う」(池上本門寺)などがある。



福岡アジア美術館 博多区下川通り3-1リバレインセンタービル7F

